

中央ろうきん 友の会ニュース

東日本大震災被災地支援報告
ならびに地区本部活動報告 他

【編集】 中央ろうきん友の会事務局

【発行人】 鈴木政雄

【発行】 2018年5月15日 No.9

中央ろうきん友の会の「東日本大震災被災地支援商品」 2017年度は2,000個を超える販売協力をいただきました!!

2018年度の支援商品に「みちのくまほろば会」のYシャツポプリが加わりました!

中央ろうきん友の会の東日本大震災被災地(者)支援活動として取り組んでいる被災地支援商品の販売協力は今年で5年目になります。2017年度は、6地区本部、25支部などから2,052個の購入協力をいただくことができました。ご協力いただきました会員の皆様には厚く御礼申し上げます。

2018年度も被災地支援商品の販売協力を継続して実施することが昨年の総会で確認されておりまして、この度、支援先からお礼の手紙と写真が届きましたので、皆様にご報告させていただきます。

「さくらさかせるぞう」
西原 千賀子さん
さくらさかせるぞうが誕生して七年になりました。原発事故後、仮設住宅で出会った仲間とぞうさん作りを始めました。先行きの不安を抱えた日々、その中で仲間と語らいながらの作業は心安らぐひと時です。ひと針に故郷を思いひと針に手にして下さる方への感謝を込めて仕上げられています。これまでのご支援にお礼申し上げます。

友の会の皆様方の被災地への思いに感謝申し上げます。あれから七年、月日は流れても私達にはあの恐ろしい光景と失われたものは心の痛みとして消えることはないでしょう。



出来上がった作品



メンバーの皆さん

「気仙沼あんでねっと」
小松 節子さん

でも多くの方のご支援で結ばれた絆や輪が癒しとなり、「継続は力なり」と頑張っただけで、本当にありがとうございます。

「みちのくまほろば会」
後藤 恭子さん



作業風景



大震災の日から早や七年目、「明日には帰れる」と信じながら月日はあつという間に過ぎてしまいました。巨大津波の被害で原発事故へと広がり、即、全町強制避難指示でした。あの時の街中の騒動は今振り返っても身震いする思いです。「原発は安全・安心です」の神話は一瞬で消えたのです。故郷浪江も一部解除になり、戻るように!との呼びかけが大了。時折帰るのですが、更地がどんどん広がり昔の面影がないのです。

不思議な縁で西東京市の地で避難生活が始まり、僅かな手掛かりを求めて手を繋ぎ、「まほろば会」を立ち上げ、地域の皆様の優しい支えが大きな希望となり、何よりの居場所として笑顔が集うようになりました。会はそれぞれの方の趣味を活かしてのハンドメイドを楽しみながら社会参加が出来る喜び、又散歩会、食事会等交流の場を広めています。地域の皆様のご支援は大きな励みとなり勇気と元気を頂きながら一歩一歩前進して絆を強くしていきます。心より感謝申し上げます。



作業風景



メンバーの皆さん

宮城県南三陸町でわかめ
こんぶの養殖業を営む
今野 昭雄さん



今野さんご夫婦

東日本大震災から七年が経過しました。ろうきん友会の皆様には仮設住宅入居時から義援金や応援をいただき本当にありがとうございます。友の会の皆様とお会いするきっかけは赤帽（東京災害ボランティアネットワーク）さんに出会ったお陰です。きっかけは震災でしたが、絆の深さやご縁に感謝の気持ちで一杯です。六年もの間、仮設住宅暮らしに耐えられたのも赤帽さんやろうきん友の会の皆様のご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

今年も元気で養殖業に専念できる事、嬉しく思います。上質のわかめができましたので、注文にお応えできるよう頑張っております。

地区本部事務局長と本部
役員との意見交換会開催1

今年度で2回目となる「地区本部事務局長」と「本部役員」との意見交換会は2017年1月17日、中央労金湯島ビル会議室において本部役員8名、地区本部事務局長6名の出席を得て開催されました。

意見交換会は高橋事務局長の司会で開会し、鈴木会長の挨拶、出席者全員の自己紹介を経て、各事務局長の皆さんから2016年度の地区本部の活動状況が報告され、その後、地区本部運営上の課題などについて活発に意見交換が行われ、有意義な意見交換会となりました。



茨城：野崎事務局長



挨拶する鈴木会長



山梨：石川事務局長



神奈川：芦沢事務局長



東京：古賀事務局長



千葉：伊藤事務局長



埼玉：小林事務局長

ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます

2017年度 災害支援基金 協力先一覧

(2017年3月31日～2018年3月31日)

(注) 振込順に記載

大井支部	24,693	秦野支部	10,000	平塚支部	25,339	埼玉地区本部	50,000
市原支部	10,000	大手町支部	10,000	越谷支部	10,000	神奈川県地区本部	66,651
高崎支部	30,000	太田支部	10,000	前橋支部	50,000	(預金利息)	13
西多摩支部	5,000	伊勢崎支部	2,700	東京地区本部	100,100		
荒川支部	11,852	千葉支部	12,938	合計			429,286

2017年度 被災地支援商品購入 協力先一覧

(2017年2月1日～2017年12月30日)

(注) 支部は店番順に記載

茨城	下館、茨城地区本部	栃木	栃木地区本部
群馬	前橋・太田	山梨	富士吉田、山梨地区本部
千葉	千葉地区本部		
埼玉	大宮・川口・飯能・東松山・狭山、埼玉地区本部		
東京	御茶ノ水・王子・一ツ橋・市谷・池袋・西多摩・五反田・荒川・江戸川、東京地区本部		
神奈川	横須賀・中原・大船・川崎南・座間・新百合丘・戸塚、神奈川地区本部		

第7回新任支部会長研修会開催！

各地区の多くの仲間と交流を深めることができ、非常に良い体験となったとの多くの感想をいただきました！

第7回新任支部会長研修会は1月31日(水)～2月1日(木)の日程で、東京文京区のホテル東京ガーデンパレスにおいて、17支部の新任会長の参加を得て開催されました。

1日目は中央労働金庫田村営業統括部長のご挨拶、鈴木会長より「支部会長の皆さんへ」と題した講話、高橋事務局長より「友の会の組織と運営」、井口職員より「友の会の財源と会計」について説明が行われ、1日目の最後は公認会計士でありながら趣味の落語講演が忙しいという三遊亭英遊師匠(本名：石倉英樹氏)より、「笑って 学んで 健康に！」と題した相続落語の講演で締めくくりました。

2日目は、東日本大震災等、自然災害発生時に被災者支援で大きな力を発揮し、友の会の災害支援基金の運営アドバイザーを担っていただいている東京災害ボランティアネットワークの福田事務局長から「東日本大震災から七年被災地からの報告と今後の課題などについて」と題した講演をいただきました。

その後、意見交換会を経て研修会最後は「中央労働金庫からのご要請について」と題して、中央労働金庫営業統括部伊藤洋次長の講話で終了いたしました。



鈴木会長

2日目は、東日本大震災等、自然災害発生時に被災者支援で大きな力を発揮し、友の会の災害支援基金の運営アドバイザーを担っていただいている東京災害ボランティアネットワークの福田事務局長から「東日本大震災から七年被災地からの報告と今後の課題などについて」と題した講演をいただきました。

その後、意見交換会を経て研修会最後は「中央労働金庫からのご要請について」と題して、中央労働金庫営業統括部伊藤洋次長の講話で終了いたしました。



研修会の模様

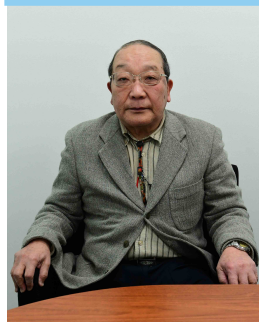


営業統括部田村部長



研修会の模様

役員の紹介コーナー



小貫義弘 財政検討委員



阿部昭志 本部委員

地区本部の活動紹介コーナー

「泊まり込み支部交流会・研修会」を開催！(東京地区本部)

東京地区本部では4月15日(日)～16日(月)に箱根において、「泊まり込み支部交流会・研修会」を開催しました。

当日は支部会長を中心に全支部(31支部)から参加をいただきました。

交流会は、野田会長、来賓挨拶の後、中央労働金庫からの要請を受け、その後、本部やブロック会議の報告が行われました。意見交換

苦労話など様々な意見交換

が行われ、今までにない交流を図ることができました。

その後の研修会は東京ボランティアネットワーク福田事務局長より、震災時のボランティア経験をも踏まえた防災・減災の重要性が充分伝わる講演をいただき、充実した交流・研修会を終了することができました。

友の会東京地区本部
事務局長 古賀 紘一

年金受取は、〈中央ろうきん〉へ

インターネットバンキングでの振り込みによる振込手数料を月3回までキャッシュバック！

対象となるお取引	〈中央ろうきん〉に年金受取(公的年金、企業年金)をご指定の方による、ろうきんダイレクトのインターネット/モバイルバンキングでの普通預金からのお振込。 ※当金庫のシステムにて判定可能なご契約に限ります。
キャッシュバックの回数	お1人様あたり1カ月につき日付・時刻の早い順に3回までとなります。
キャッシュバックの時期	毎月分をまとめて、翌月20日(休業日の場合は前営業日)にお客様の〈中央ろうきん〉普通預金口座へご入金します。

※キャッシュバックサービスは個人のお客様が対象となります。

詳しいお問い合わせ・ご相談は〈中央労働金庫〉の最寄りの営業店へお問い合わせください。

2015年5月1日現在



研修会の模様

地区本部の活動紹介コーナー

「出逢い、交流、ふれあい」を實踐！
第8回支部役員全体集会（神奈川地区本部）



開会挨拶する鈴木会長

2017年11月6日（月）
神奈川地区本部主催の第8回支部役員全体集会在ワークピア横浜で地区本部役員6名、支部役員152名、本部役員2名、労金役員31名の191名が参加して行われました。

支部役員全体集会是、22支部の役員が一堂に会して、出逢い、交流、ふれあい、を實踐する場として企画しました。

第一部の全体集会上では、友の会鈴木会長、中央労金神奈川県本部佐藤常務理事の挨拶があり、中央労金神奈川県本部高橋統括部長から友の会への要請、藤沢支部、茅ヶ崎支部から活動報告が行われ、休憩をはさみメインの公演へと進みました。

本年度の公演は桂文喬師匠（上方落語協会）より「健康寿命を延ばして笑涯現役」と題して行われました。年をとってからは

「趣味を持ち」、「興味を示す」ことが大切と、笑える・学べる・楽しめる話題で、あっといいう間の90分間、参加者一同の笑いの渦が絶えませんでした。

第二部のレセプションでは、乾杯のあと、ハワイアンダンスと劇団前進座の剣舞と踊りが披露され大いに盛り上がり、各テーブルはもとより他の支部との交流・親睦が十分に深まった頃全員に当たる抽選会が行われ、全ての行事が終了し、最後は地区本部役員が支部役員をお見送りして来年の再会を約しました。

友の会神奈川地区本部
事務局長 芦沢 春樹



全体集会



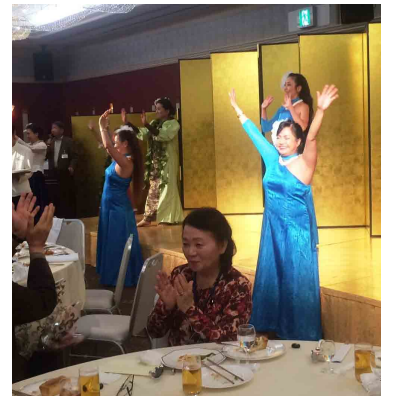
懇親会の模様

第一回「会長宿泊研修会」を開催！！
支部会長と労金職員との懇親深まる！（千葉地区本部）

2018年2月14日（水）
15日（木）にかけて、千葉地区本部では初めてとなる「会長宿泊研修会」が開催されました。研修会には各支部会長、中央労金からは千葉県本部日高常務理事と友の会担当の労金職員総勢30名が参加しました。

研修会は2回に分けて行われ、初回は中央労金千葉県本部3階大会議室で「ホームページのアクセス数向上に向けて」と題して友の会本部神林事務長より講演を受けました。その後、会場を当日の宿泊先である国民宿舎サンライズ九十九里に移し、中央労金日高常務理事より「労金の歴史と役割」について講演を頂きました。

夜は、今回の大きな目的の一つでもある各支部の会長と労金職員との懇親を深めるため大宴会が催され、深夜おそくまでまさに膝を交えて語りあう事ができ、



恒例のハワイアンダンス

友の会千葉地区本部
事務局長 伊藤 芳徳



研修の模様



懇親会の模様

最近、警察官や金融機関職員等を名乗り、暗証番号を聞き出して、キャッシュカードや現金を騙し取ろうとする詐欺が確認されていますので、ご注意ください。

そのような電話などがあった時は—

- 訪問者にはキャッシュカードや現金、暗証番号を渡してはいけません。
- 不審な電話があった場合はいったん電話を切り、必ず警察に電話して確認してください。